

**第212回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会**

日 時: 2008年5月22日(木) 13時~17時45分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1411教室(14号館) アクセス**  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

**講演主題: LC-MS/MSの食品への応用ノウハウ**

食品の安全に関わる諸問題が多数発生しており、今まで以上に迅速で正確な分析方法が求められています。LC-MS/MSは高い感度と選択性有することから食品分析において急速に活用されるようになりました。本例会では、LC-MS/MSの食品分野におけるアプリケーションとノウハウを御講演頂きます。

**講演**

1. **講演主題概説** (13:00~13:05)  
(アサヒビール(株))望月 直樹
2. **LC-MS/MSの食品への応用** (13:05~13:30)  
(アサヒビール(株))望月 直樹
3. **LC-TOFMS及びLC-MS/MSを用いたかび毒分析** (13:30~14:00)  
(アジレントテクノロジーズ(株))滝埜 昌彦
4. **LC-MS/MSによる各種食品分析アプリケーションの紹介** (14:00~14:30)  
(アプライドバイオシステムズジャパン(株))小椋 哲雄
5. **UPLCの技術と機能性食品における分離分析への応用** (14:30~15:00)  
(日本ウォーターズ(株))江崎 達哉
6. **作物中の残留農薬一斉分析のノウハウ** (15:15~15:45)  
((株)アイスティサイエンス)谷澤 春奈
7. **残留動物薬分析への応用** (15:45~16:15)  
(埼玉衛生研究所)石井 里枝
8. **残留農薬分析におけるHPLCの役割** (16:15~16:45)  
(東京都健康安全研究センター)高野 伊知郎
9. **食品中キラル成分分析におけるLC-MS(MS/MS, TOFMS)の有用性および留意点** (16:45~17:15)  
(星薬科大学薬学部)齊藤 貢一

## 10. 総括:LC-MS/MS:Scope & Limit (17:15~17:45)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

### 参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:  
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

### カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

### 技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

---

### 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご  
使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバー  
した場合のみご連絡します。)

### 申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm.tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm.tanaka@jsac.or.jp)]